



平成29年度 新入生 おめでとう

希望を胸に少し緊張気味の新入生に、平山学長は「キャンパスで友情を育み、大学生活を精一杯謳歌^{うたか}して、青春時代を送ってください。私たちは、皆さんのが自立という未来に向かって基礎を築くお手伝いをします。教養ある人格・人間形成に励めるよう最大限の支援をします。でも主役は皆さんです。

入学後、早期に勉強する生活習慣をつけてください。学ぶ楽しさを知つてください」と式辞を述べました。

派遣留学などで提携するアメリカ、ロシア、中国、韓国、カナダ、5大学からの祝福メッセージをスク

リーン映像で紹介。新潟県知事と新潟市長の祝辞が披露され、在学生代表の国際文化学科・天野健太郎さんが「多くの人と交流し積極的に友人をつくりください。そして知識を深めてほしい。クラブ、サークル活動の先輩、後輩のつながりは心強い力になります。自主性を高め、自覚を持つてほしい」と先輩として歓迎しました。

新入生代表の国際文化学科・小野達矢さんが「自己の無知を自覚し、積極的に調べ、先生方に学び、友人と切磋琢磨して成長していく有意義な4年間にしたい」と入学の抱負を述べました。



CONTENTS

(2~5面)

平成29年度入学式特集
学長式辞
新入生代表・私の抱負
在学生代表・歓迎の言葉
両学部長のメッセージ

(6~7面)

COC+国際交流事業
駐日韓国大使が来学 講演
青少年のための科学の祭典 出展
農産物を活用するコンテスト
アイデア部門で入賞
国際学部 安藤潤准教授
家計経済を分析、出版

オープンキャンパス案内

(8~9面)
派遣留学・海外夏期セミナー帰国報告
(10~11面)
就活スタート 学生・企業交流会
日本人間工学会で表彰
平成28年度主な就職先一覧

教員の活動

(12~16面)
平成28年度卒業式特集
学長式辞・理事長祝辞・卒業生答辞
JABEE認定33人に修了証書
卒業にあたって
特別表彰 式典スナップ



NUISホームページ
<https://www.nuis.ac.jp>
(スマートフォン対応)



Facebookページ
<https://www.facebook.com/nuis.face>



LINE@
[@nouis-line3111](https://line.me/ti/p/@nouis-line3111)
LINEの「友だち追加」からID検索で登録

桜の花芽ほころぶ青空の下、平成29年度入学式が4月4日、本学体育館で行われ、新入生332人（情報文化学部200人、国際学部132人）は気持ちを引き締めて、みずき野キャンパスでの学生生活をスタートさせました。

入学式

式 辞



新潟国際情報大学
学長 平山 征夫

く質問し1日も早く大学生活のリズムを築いてください。

本学から卒業つていった皆さんの先輩は約5800名ですが、その多くは地元で活躍しています。卒業生の努力もあってこの23年の比較的短い歴史にも関わらず、幸い地域から信頼される存在として評価されるようになります。

ました。昨年本学では5月10年先を展望した中長期計画をまとめました。そのタイトルは「未来を創る大学」

この春もみずき野に332名の新入生を迎える入学式を挙行できることを心から喜んでおります。

まず新入生皆さんに「入学おめでとう」と申し上げたい。本学役員、教職員を代表して皆さんの入学を心から歓迎申し上げます。ご父母の皆さんにもお祝い申し上げま

す。

本学では先月20回目の卒業生を送り出し、本日24回目の新入生を迎えました。平成6年の開学以来、毎春大学としての歴史を刻み伝統を育んできました。これからはその役割を皆さんに引き継いでいくわけです。どうかこのキャンパスで大学生活を精一杯謳歌し、有意義な青春時代を送つてください。

皆さんはこれから大学生活に期待と不安を抱いておられることでしょう。私ども教職員は皆さんがスムーズに大学生活にないじめるよう全力でサポートしますので、安心してください。分からることは遠慮なく質問してください。

本学は国際化・情報化時代に地域で必要な人材育成を主たる目的に1994年

豊かな人格形成へ

に設立されました。4年前の創立20周年を期に国際学部を新設、2学部制として新たなスタートをしましたが、さらに時代や地域ニーズに応えた人材育成を充実すべく情報文化学部の「経営情報学部」への改組（経営学科の新設）を来年度以降目指すこととしています。また、このみずき野の恵まれた自然環境の中、皆さんが充実したキャンパスライフを送れるよう、近年学生会館の建設など学園環境の整備にも努めてきました。このキャンパスで、友情を育みながら大いに青春を謳歌してください。これが皆さんの未来への飛翔のスタートの地となりますことを願っています。

本年は情報文化学部200名、国際学部132名、両学部合計で332名の新入生を迎えることになりました。教職員一同建学の理念である「国際化、情報化の社会の中で役に立ち、能力があり、意欲があり、人間性豊かな人物を育成する」という目的に向かって、皆さんのが日夜勉学に勤しみ、人格・人間形成に励むことができるよう最大限支援します。でも主役はあくまで皆さんです。

皆さんが将来の夢の実現と自立に向って学び、考える力を身につけてください。皆さんは本学の建学の精神等に共鳴し国際文化、語学、情報システム、経営情報といった専門分野に興味を抱いて、高等教育を本学で学ぶことを選択したわけです。私たちには皆さんの希望が達成できるよう全力で応えて参ります。皆さんも自分の目標に向かって日夜勉学に励んでください。そのためには、まず入学後早期に勉強する習慣を身につけてください。大学は高校までの

ように決められた授業スケジュールに従つて学ぶのではなく、自らが何を学ぶかを決め、カリキュラムを選んで学ぶのです。しかも選んだ授業に出るかどうかは自由です。

皆さんはこれから大学生活に期待と不安を抱いておられる事でしょう。私ども教職員は皆さんがスムーズに大学生活にないじめるよう全力でサポートしますので、安心してください。分からることは遠慮なく質問してください。

本学は国際化・情報化時代に地域で必要な人材育成を主たる目的に1994年

入学後最初の半年間に自由の中にも規律のある、そして自ら学ぶという生活習慣についてあります。それができないと授業についてゆけず、欠席しがちになります。最初の半年間で学ぶ習慣をきちんと身につけ、学ぶことの楽しさを知つて欲しいのです。大学生となり「生涯学び続ける人生」のスタートを切つてほしいのです。

大学では高い専門性と同時に極力幅広い分野の学びも行い、様々な問題に関心を持ち、深い思考力を身につけるようにしてください。大学は「リベラル・アーツ」教育といつてこうした学びを重要視しています。「AI時代」では長い生涯何が起ころうか分かりません。迷った時、困難に遭遇した時、どう生きるか判断するのに多くの「知識の引き出し」を持つことが重要な時代です。その知識の引き出しを動員した思考の繰り返しが判断力を高め、相手の意見をも受け入れる包容力も身につけさせてくれます。包容力のある人間性豊かな人格を形成していくことが信頼される人間を作り上げてゆくからです。

それには専門分野以外、例えば哲学、文学、美術、音楽など思考と感性を豊かにしてくれる分野にも大いに興味を持つください。クラブ活動や、先生や友人との人間関係からも多くのことを得るでしょう。積極的に部活や友人づくりに取り組んでください。そんな学生生活を本学で送つて欲しいのです。この大学で自分の学びたいことと自分の適正を見定めながら自身の将来の生きる道、生き方を見つけてください。

明日からの大学生活は高校生時代とは異なり、限りなく自由です。授業に出ようが、アルバイトに行こうが、家で寝ていようが自由です。でも自由であるからといって学生の本分である学ぶことを忘れたら学生で

はありません。自己管理をしっかりと行い、メリハリのある学生生活を送ってください。

それには目標を定めて取り組むのが良いでしょう。JABEEなどの資格取得やTOEFLの点数を目指したり、地域貢献ボランティアに取り組んだり、4年間の目標計画を作つて管理していく目的意識が望れます。毎日のトレーニングが積み重なつてTOEFLの点数が高まつていくようになります。日々の研鑽こそ大切です。短時間でもよいですから毎日の勉学を習慣にしてください。

古代ギリシャの哲学者アリストテレスは次のように言つています。この言葉を噛みしめてください。

一羽のツバメが来ても
夏にはならないし、

一日で夏になることもない

このように一日もしくは短い時間で、
人は幸福にも幸運にもなりはしない

生涯学び続けよう

毎日の積み重ねで人は幸福になるのだと
言つているのです。

もう一つ、あまり入学式にはふさわしく
ないのですが、毎年お願いしていることが
あります。学生諸君だけではなくご父母の方々も一緒に聴いてください。それはこうして希望に胸を膨らませて入学しながら、途中で休退学する学生がいるということです。経済的理由もありますが、勉学意欲の喪失、実質は授業に関心が持てない、ついでいけないと言う理由が多く、とても残念なことです。しかも、もつと早く相談してくれれば何とか休退学に至らずに済んだのにというケースもあります。私たちは極力

こうした事態に至らないよう全力で皆さん
の相談に乗つて問題解決に努めたいと思つています。そのためゼミの先生を中心に行修状況を見ながら面談等を行いますので、

悩みを抱え込まずに相談してください。多くは勉学習慣が身につかないまま夏休みが来て、秋になると授業についていけなくなったり、登校しなくなるというケースです。そんな状態になりかけましたら、すぐにゼミの先生が学務課の担当者などに相談してください。

ご父母の方々、家庭でお子さんと時折大学生生活について話し合つてください。ゼミなど欠席が続いた場合には大学側から連絡

させていただきます。不幸にして途中で家庭事情の変化で勉学の継続が難しくなった場合にも相談ください。勉学意欲を持つた学生が経済的事情だけで辞めなければならなくなることを何とか避けたいと、父母会の御尽力で一定の条件を満たすケースについては支援する本学独自の制度を数年前設置しています。どんな事態になつても勉学意欲は持つていてください。一緒に悩み相談に乗つてくれる人がいることを忘れないでください。

皆さんこれから大学生活がこの豊かな自然の中で楽しく意義深いものとなりますことを切望しています。世界をみれば所

得格差拡大による中間所得層の崩壊などで、大学で学ぶことが困難な若者が増えています。中には紛争の中で生命の安全すら脅かされている若者もいます。どうか高等教育を受けられないこうした若者に思いをいたしながら、大学で学ぶことが出来る喜びを噛みしめ勉学に励んでください。最後に入学の歓迎のエールとして私の好きな米国作家、ウイリアム・アーサー・ウォードの言葉を送ります。

本学では以前から挨拶運動をしています。式の後から早速、大学内ではお互い元気よく「おはようございます」「こんにちは」と挨拶しましよう。挨拶から信頼しあう人間関係が生まれます。今日から皆さんは同じ大学の仲間として挨拶を交わします。

樂観的な人間は風が出てきたと嘆き
樂観的な人間は風が止むのを待つ
しかし現実的な人間は帆を調整するのだ

世紀情勢は目まぐるしく変化しており、
連日のように様々なニュースが報道されています。しかし、メディアによって報道されて
いる内容をただ受動的に享受するだけ

に、見識豊かな先生方から学び、同じ志を持つ友人と切磋琢磨しながら成長していく有意義な4年間にしたいです。

また、勉強だけでなくクラブやサークルなどの課外活動を通して、様々な人と関わることで自分の感性や考え方を広く豊かなものにしていきたいと思っています。

悲観的な人間は風が出てきたと嘆き
樂観的な人間は風が止むのを待つ
しかし現実的な人間は帆を調整するのだ



新入生代表
国際文化学科1年
小野 達矢

私の抱負

まだ雪の残る越後の山々も春の日差しを受けて輝く季節になりました。

本日は私たち新入生のためにこのような素晴らしい入学式を挙行していただき、誠にありがとうございます。また、数々の激励のお言葉をいただき、心から御礼申し上

向上心を忘れず 知的探究続ける

では、そのニュースのより深い、本質的な部分を知ることができないと考えます。大

学では、このようなニュースに対して、積極的に調べ、話し合い、そして自分なりの答えを導き出したいと思います。そのため

まだ雪の残る越後の山々も春の日差しを受けて輝く季節になりました。

本日は私たち新入生のためにこのような素晴らしい入学式を挙行していただき、誠にありがとうございます。また、数々の激励のお言葉をいただき、心から御礼申し上

ます。

本学では以前から挨拶運動をしています。式の後から早速、大学内ではお互い元気よく「おはようございます」「こんにちは」と挨拶しましよう。挨拶から信頼しあう人間関係が生まれます。今日から皆さんは同じ大学の仲間として挨拶を交わします。

樂観的な人間は風が出てきたと嘆き
樂観的な人間は風が止むのを待つ
しかし現実的な人間は帆を調整するのだ



在学生代表
国際文化学科3年
天野 健太郎

平成29年度新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、ご臨席いただきご父母の皆さんにも、心よりお祝いを申し上げます。

新入生の皆さんは本日からこの新潟国際情報大学の学生になりました。これから4年間の大学生活を送るにあたつていろいろと考えることがあると思います。新たな環境への期待や単位取得などに対する不安など、いろいろ思うことがあると思います。ここで私は大学生活を楽しく、そして自分の持つ力を最大限に生かすために3つの秘訣をお伝えします。1つ目は多くの人と交流関係を築いてもらいたいということです。新たな環境ですぐに友人関係を築くことは少し難しいことかとは思いますが、これから4年間の大学生活を円滑に送るためにとても重要になります。「一人一人の学生同士が手を取り合い、未来に向かい進んでいく大学にしたい」これは私自身がこの大学内での学友会長の選挙で公約に掲げたものです。そして私は学生投票により学友会長に選出されました。学友会長というのは生徒会長のようなものです。一人でできずに悩むようなことがあってもあなたのそばには協力してくれる人がきっといます。

2つ目は、時間の使い方です。これは主にアルバイトのことなどについてです。大学生になれば毎日朝から夕方まで大学で講義を受けている、といった今までの高校などのような決められたスケジュールではなく、自分で決めたスケジュールで働くようになります。今までよりも時間がが多くなり自由に行動できると思います。こういった時間にアルバイトに励めばお金は稼げ、ちょっとした社会勉強にはなるとは思います。私がとしては、こういった自由に行動できる時間にこそ友人との交友関係や自らの知識を深める時間にしてほしいと思います。ク

るはずです。地元の友達や同じ高校だった友達と仲良くするのも大切なことです。が、積極的に新しい友達を作つてみてください。

自覚と自主性、人と関わる

ラブ活動に参加してみるのもよいです。う。本学には40以上のクラブやサークルがあります。興味あるサークルがなければ自らサークルを立ち上げることもできます。クラブやサークルでの先輩や後輩とのつながりはとても心強い力となります。まずは何かサークルに入つてみるとよいでしょう。

そして最後の3つ目は、自主性を高め物事に対する姿勢を変化させてほしいということです。簡潔にいうと自分で決める自覚を持つてほしいということです。先ほどの時間のところでも触れましたが、大学生は自分で決めたスケジュールで動きます。決断すべき時に決断できないと、その後悔が自分にしかかつてきます。そうならないためにも、ただ時間に任せることではなく自

日本私立大学協会 会長 大沼 淳様
新潟県 知事 米山 隆一様
新潟市 市長 篠田 昭様
セコム上信越株式会社 代表取締役会長 野沢 慎吾様
株式会社日本ドリコム 代表取締役 山城 由紀雄様
株式会社リクルート北関東マーケティング 代表取締役社長 中島 淳二様

祝電

順不同

湧源
編集後記に代えて

入試・広報委員長 安藤 潤

30年近く前、確かに自分も入学式に出た。桜舞い散る中、巨大な体育館に押し込まれられ、うる覚えの校歌を歌つたように記憶している。結局その後大学院まで含めて12年間お世話になつたが、今もって、入学式からGW前までの約1カ月間のあの光景は異様としか思えない。

一部学部を除いて男子比率が極めて高い大学にもかかわらず、その1カ月間だけは部や同好会オリジナルのスタジアムジャンパーや鮮やかな蛍光色のウイングブレーカーをまとつた他大学の「先輩」女子学生であふれかえる。一方で、どの部や同好会に入ろうかと地下鉄・バスに乗つて千人くらいの「新人」女子学生がやつてきたり、勧誘の「先輩」男子学生が群がる。一人暮らしの多い東京では、あれが彼・彼女たちにとって、後にある社会学者に「婚活」と呼ばれる行動の第一歩だつたかも知れない。

そして「新人」男子学生はとなると、声掛けは大抵が体育会か体育会系の同好会となる。学生数8万人を超える大規模大学とはいえ弱小団体は勧誘に必死なのだ。私も院生だったにもかかわらず、図書館を出で校内を歩いていると、イチかバチかのだろう合気道部から勧誘された。結局、私はあるバスクケットボール同好会に入つたが、そこでできた友人とは今でも時々再会してはくだらない話で盛り上がる。子育てもひと段落した友人たちの現在の最大の関心事は私の結婚(というより、おそらく友人として出席するのが最後になるであろう結婚式)だ。

新入生の皆さん、入学おめでとう。この大学はなぜか部活動や同好会活動に参加する学生が多くありません。勉学に励むのはもちろんですが、それ以外に何か一つ打ち込めるものを、そして人生最高といえる友人を大学で見つけられることを祈っています。

悩み苦しみ、喜び、充実の4年間に

情報文化学部

早速ですが、皆さん明日から次のことを行ってください。

①興味・関心のあることをできるだけ早いうちにみつける。

②毎日本を読み新聞に目を通



澤口 晋一 学部長

國際學部

入学おめでとうございます。
”鉄は熱いうちに打て“という格言があります。大学4年間で何をしたいのか、そのイメージを5月の連休までの間に書いてみることを提案します。皆さんが4年間、大学生活を有意義に過ごすためのヒントを3つ贈り



小林 満男 学部長

ます

なぜ学ぼうとするのか、何を学びたいのか、どのように学ぶのかをじっくりと自分の頭で考え実践してほしいのです。”大きい

なぜ、何を、どう学ぶのか

等で働き、賃金をもらい納税する職業人となります。

今までの生徒として過ごした小中高12年間の学びをふまえて、おそらくは50年前後は続くであろう職業人生活に接続する

③好奇心とやる気を4年間持続させる。

興味と好奇心、本と新聞で

まるで知らないというのでも困ります。どうすればいいのか。世界中で起きていることをざつと観ていくと、何かしら、心

定期的に起床することがポイントです。予習・復習も習慣になれば授業も余裕をもって臨め、学ぶことが楽しくなります。AI（人工知能）やIOT（モノのインターネット）などを利用し

に引っ掛かるものが一つや二つは必ずあるはずです。これがすべての出発点です。次にそれがいつたいどういうことなのかを面倒くさがらずに少し時間をかけて調べてみるので、ネット

主体的に学ぶことが基本ですが、それだけでは十分ではありません。自分が理解したことを見直す友人や教員、あるいは家庭や地域社会での議論やコミュニケーションを通して磨きをかけ、学

せんか。計画は実行し、やり繰りしながら実現することが大切です。その成功（失敗？）体験はきっと一生の財産となるはずです。

学びは社会的行為であるといふことは、自分たちは十分ではあります。まずは自分が基本です。

せをかみしめてほしいと思いま
す。 東京2020“になぞら
え、”自分の名前+2020“
と名付けた4年間にわたる大学
生活の事業計画書を立ててみま
せんか。計画は実行し、やり繰
りしながら実現することが大切
です。その成功（失敗？）体験が
はきっと一生の財産となるはず
です。

た身の回りのサービスやビジネスは日進月歩で変わりますが、学ぶ習慣を身に付ければ一生困ることはありません。大学で負けた学ぶ習慣はあなたの宝になるはずです。

皆さんが4年生となる2020年には東京でオリンピック・パラリンピックが開催されます。本物の学びとなつていくはずです。

使うことは否定しませんが、できれば本を使って調べてください（図書館で書棚の前に立ち、じっくり何冊もの本の背表紙（書名）を見て、目次に目を通し、文章を少し読んでみて）。一つのこと（問題）は、歴史（時

んどん理解が深まっていきます。す。同時に疑問も湧きます。そ
うなれば最初一つの点だつたものが、多くの点を構成し相互に
連関し合い網の目のようになります。問い合わせの発見と解決はま
でこの過程で起こるものです。

ていくものだと思います。こうして身に付けた能力は、やがて社会に出た際に強力な武器となります。どうぞ大いに悩み苦しめ、喜び、泣き笑い、後悔しつつも充実していたと思える4年間を送ってください。

友好前進へ 相互理解を

李俊揆・駐日韓国大使が来学 講演



本学で開いた特別講演会で話す李俊揆大使



弥彦神社で参拝を前に、境内の手水舎で身を清める作法を体験する一行

海外4大学の教員・学生19人迎え

COC + 國際交流事業

弥彦参詣や地域視察

昨年2月に続いて、COC + 交歓しました。

(文部科学省による「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業」)の国際交流関連事業の一環として昨年11月下旬、ロシアの極東連邦大学、中国の北京師範大学、韓国の慶熙大学校、アメリカのノースウェスト・ミズーリ州立大学から教員、学生合わせて19人が来県し、楽しく

は平山学長に面会した後、本校や岩室の宝山酒造、寺泊魚の市場通り、佐潟などを視察。24日ア語・中国語・韓国語・英語の各クラスの授業で交流をしました。その後、国際交流インスト

11月23日は本学の学生と一緒に燕市の産業史料館、弥彦神社に燕市産業史料館、弥彦神社でロシア(みずき野キャンパス)でロシア語・中国語・韓国語・英語の各クラスの授業で交流をしました。その後、国際交流センターで交歓しました。

11月26日は、ホテル日航新潟を会場に、一行と本学の学生がグループで、一歩と本学の学生がグループで、新潟のロシア、中国、韓国の各領事館から総領事を招いて歓迎会も開催し、訪れた各国の大学の教員・学生と領事館関係者との交流が深まり、有意義な時間を過ごしました。

(企画推進課 関川歩)



本学の国際交流センターで交流歓談する学生たち

経済連携や文化交流

「民族主義に陥らない工夫を」

昨年7月に交代したばかりの駐日大韓民国大使館・李俊揆(イ・ジュンギュ)特命全権大使が12月2日、本学を表敬訪問されました。

李大使は、星野理事長と平山学長を表敬訪問して和やかに懇談しました。その後、長年にわたって韓国の中大慶熙大学校などと交歓を続けている韓国語履修コースの学生たちとの交流会で、

本学の韓国留学の歴史と内容などについて学生から説明を受け、「外国語はいろいろな国々の人々と交流し視野を広げるための第一歩。手段、ツールの一つです。そこで何をどのように伝えられるのか、準備を重ねて、いかに差異化していくのかがより重要です」などと話されました。

今回の講演会は、学生だけでなく一般の方々にも公開し、約150人が李大使の話を熱心に聴講していました。

李大使は、星野理事長と平山学長を表敬訪問して和やかに懇談しました。その後、長年にわたって韓国の中大慶熙大学校などと交歓を続けている韓国語履修コースの学生たちとの交流会で、

交谈会の後、日韓友好をテーマに「なぜ、今韓国なのか」と題して、日本に留学経験もある李大使が日本語で講演。日韓の経済的連携や歴史問題、観光ブームをはじめとした文化交流など多岐にわたって話され、今後の友好前進に向けて相互理解と、民族主義に陥らない工夫が大切です、と指摘されました。

交谈会の後、日韓友好を

(国際文化学科講師 佐藤若菜)

ープに分かれてワークシヨップを開催。「新潟」、「NUIS」をキーワードにして、今回の視察で体験したことなどをテーマにグループごとに感じたこと考えたことをまとめて、個性あふれる発表を行いました。

ヨップを開催。「新潟」、「NUIS」をキーワードにして、今回の視察で体験したことなどをテーマにグループごとに感じたこと考えたことをまとめて、個性あふれる発表を行いました。

「青少年のための科学の祭典 新潟県大会」

光受信機を作つてリモコンの光を聞いてみよう。情報システム学科・近藤研究室の学生7人が、「青少年のための科学の祭典 新潟県大会」（1月28、29日・長岡市のアオーレ長岡で開催）で電気光回路の実験を出展しました。

半田付けをせずに回路を組むブレッドボードで電気光路を作成体験するブースを設置。多くの小中学生と親が参加して、ペアを組んで光受信機と光送信機を組み立てました。光受信機に向けてTV用リモコンのスイッチを押す

学生の指導を受けて、小中学生が真剣に電気回路の製作にチャレンジ

國際学部 安藤潤准教授

国際学部の安藤潤准教授が「アイデンティティ経済学と共稼ぎ」を著す。

実証、政策——」と題した本||表紙写真||を出版しました。

取り組んでい
るテーマであ
る家計経済に
関する研究の集大成。「日本の
共稼ぎ夫婦では、なぜ妻に家事
労働が偏るのか」という疑問に

対して、アイデンティティ経済学という理論フレームワークを用いて分析を試みた学術研究書です。本学の教員海外研修制度を活用して2010年9月から1年間、海外で比較研究活動を行った成果も盛り込まれています。今年2月末、文眞堂から出版されました。

プロモーションまでのマーケティング戦略を立案。新潟農業・バイオ専門学校の学生と一緒に協力して作り上げ、入賞しました。公開プレゼンテーションでは、マーケティング戦略の視点を意識したプレゼンテーションに高評価をいただきました。

LEDキューブ展示も注目

同研究室の西村
広憲さん（今春
卒業）が製作し
たLEDキュー
ブの展示も注目

をを集めました。会場は2日間で1万7千人の来場者でございました。



農産物を活用するコンテスト

枝豆みそのスイーツ
アイデア部門で入賞

藤田研究室・学生チーム



贈賞式で賞状を手にする戸川和志さん(中央)、佐藤希さん(左)と平原龍也さん

アメリカ

私たち23人は、昨年8月24日から12月17日まで、アメリカ合衆国ノースウエスト・ミズーリ州立大学で学びました。

大学では、英語を第2言語とするクラスに属

して読み書き、英文法、英会話、アメリカの歴史と文化などにつ

いて授業を受け、様々な習慣などを教わりました。韓国や中国、サウジアラビア、メキシコなどの国々の学生も一緒に教室

留学生イベント「北京の夜」で「エイサー」を披露した日本人留学生たち



交流して成長 漢語検定も合格

国際文化学科3年 藤巻 直也

中國

大家好（みなさんこんにちは）。中国組の10人は約4カ月間、中国の北京師範大学で学んできました。私は今回の留学で成長できたことが2つあります。

まずは、やはり語学力の進歩です。北京に着いた当初は飲食店での注文すらままならず、授業中も先生の話を理解するのが精一杯でした。しかし、話の内容も少しづつ理解できるようになり、相手との会話も次第に苦にならなくなりました。気がつ

くと、飲食店で料理の注文もスマートにできるようになつたり、念願のHSK検定（漢語水

カナダ

朝8時から正午までの英会話クラス）で学びました。

二つ目は人との交流です。私は他人と関わることが得意ではなく、人間関係に悩んだ時期もありました。この留学を機に克服できたらと思いつつも、初めは周囲の空気に飲み込まれ、クラスメートとうまく関わることもできませんでした。しかし、自分から話しかける回数を増やし、学内外のイベントや交流会にも参加して、他人と関わる不安が減り、新しい人間関係を少しずつ築くことができたようになります。

この成長は、外国に飛び出してみたからこそできたのではないかなと思います。今回の留学経験を生かして、学生生活をより充実させていきたいです。

夢かなえた！ 刺激的な4カ月

国際文化学科3年

石橋 香音



メキシコ人留学生のお別れパーティーは大勢で盛り上がった

でした。授業中のディスカッショーンはもちろん、休み時間など、彼らと一緒に過ごす中で、アメリカだけではなく他の国々の文化も学ぶことができました。異文化について知ることは、とても新鮮で楽しかったです。

もう、学生寮内の生活ではできない様々な体験ができ、忘れない思い出になりました。

経験をこれから的人生に生かしたいと思います。

二つ目は人との交流です。私は他人と関わることが得意ではなく、人間関係に悩んだ時期もありました。この留学を機に克服できたらと思いつつも、初めは周囲の空気に飲み込まれ、クラスメートとうまく関わることもできませんでした。しかし、自分から話しかける回数を増やし、学内外のイベントや交流会にも参加して、他人と関わる不安が減り、新しい人間関係を少しずつ築くことができたようになります。

この成長は、外国に飛び出してみたからこそできたのではないかなと思います。今回の留学経験を生かして、学生生活をより充実させていきたいです。

異文化との出会い 新鮮!

で、韓国の慶熙大学校で約4ヶ月間学びました。本学で約1年間、韓国語を学び、さらに語学力を伸ばしたいと考えての留学でした。大学では韓国語の文法と読み書き、ヒアリングと韓国語の会話、そして韓国の伝統文化と歌やダンスも体験しました。韓国語の教室には日本人以外の他の学生も多く、はじめは韓国語の会話どころかハングルを聞くのも大変でしたが、授

歌やダンス体 ハングル上達

国際文化学科3年 乙 美穂
れん
つたと反省しました。

今回の韓国留学生活で考えたことはたくさんあります。それらを生かして、これからも韓国語

の語学力を向上させるよう努力して、ぜひとも、自分の会話力を試しに韓国へ出かけたいと思います。

Спасибо! (ありがとうございます。)



業で韓国語を学ぶにつれて、韓国語の先生はもちろん、同じクラスの他の国的学生とも次第に韓国語で会話ができるようになります。その後、久々に韓国人の友達

当初、会話ができる喜びを知らなかつたため、日本人同士で話してばかりいたことを後悔し、もつと早くから韓国語でいろいろな人たちと会話を続ける努力をしていれば良か

A black and white photograph of a group of approximately eight young women of diverse ethnicities. They are all smiling and holding up small, white, cylindrical containers towards the camera. The setting appears to be an indoor room with a door and some furniture visible in the background.

スの仲間と一緒に、
にして笑顔で集合

歌やダンス体験 ハングル上達

國際文化學科3年
乙 美穂



韓国語履修クラスの仲間と一緒に、もらった景品を手にして笑顔で集合

あなたは家族…思わず涙

情報システム学科3年 佐藤 優季奈



ロッキー旅行中、カナダ太平洋鉄道を背景にピース

本学の充実した留学制度と、
携わつてくださった方々、そして
無事帰国できたことに感謝
し、ここで得たことを次のステー
ッピにつなげ、後輩たち世代に
留学はとても勉強できるチャン
スだと発信していきたいと思いま
す。

（ここにちは）
ロシア極東のウラジオストクで
国立経済大学に4カ月間留学しました。
シア語研修はもちろん、人々の
暮らしや文化など多くのことを
学びました。



日本語専修コースで学ぶロシア人と レストランで楽しくランチ

ウラジオの街、歴史、料理楽しむ

国際文化学科3年 馬場 啓

勞しました。しかし、次第にわかるようになり、帰国のころには多くの言葉が理解できるようになります。

クレープのような料理と呼ばれる焼肉料理など、おいしい伝統料理を食べて多くの経験ができました。

新潟市の姉妹都市ウラジオストクは、成田空港から空路で約2時間、飛行機では日本と距離が意外に近い都市です。留学中、時間があれば現地で知り合った友人と一緒に、歴史豊かなウラジオストクの街中を散策しました。一緒に食事では、ブリヌイと呼ばれるクレープのような料理やシャシリクと呼ばれる焼肉

9

「学生・企業交流会」

県内外214社、学生267人が参加

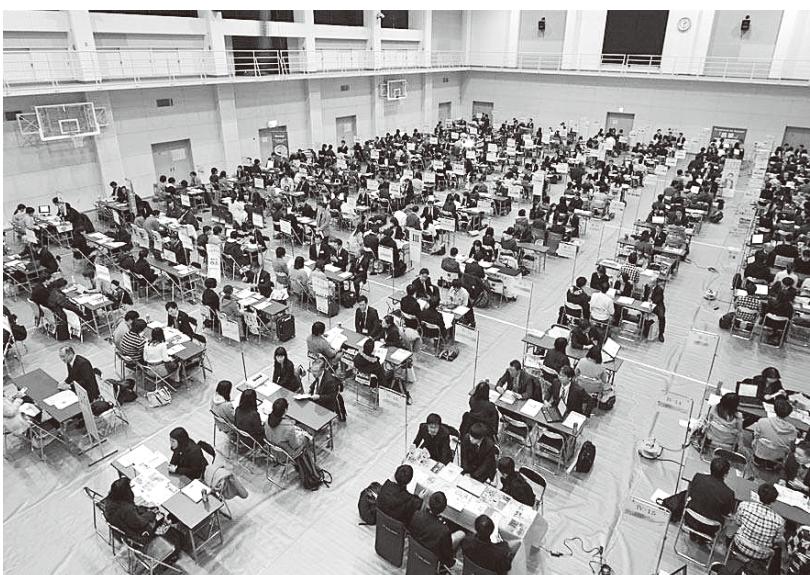
を増やすため、本学は
2月7日と
8日の2日
間、本校体
育館で「学
を開催し、同
り多い2人
の人事担当者
の就職を希望

育館で「学生・企業交流会」を開催し、県内外から昨年より多い214社の企業と団体の人事担当者が集まり、来春の就職を希望する学生267

に活動することが大切です。就活前に「どんな企業で働きたいか」「どんな仕事をしたいのか」を想像して目標を絞り込む必要があり、本学は、

「解禁前に業界をアピールできた」など好評価をいただき、学生は人事が見受けられた」「解

10月内定目指し、就活スタート



「どんな職種、仕事で自分を生かす…」

各学生に企業で働くイメージが湧くようインターネッ
プなどを積極的にすすめてきました。参加した学生たち
は、実際の仕事への理解や、
社会人としての心構えなど、
多くのことに気づいたことで
しょう。

交流会では、参加企業と同
体を4つのエリアに編成、学
生も4グループに分けて、1
回目の訪問から4回目までは
指定した企業エリア内のブー
スを自由に訪問し、1エリア
で2社を20分間ずつ訪問でき
るようしました。また、5
回目は自由訪問として、第一
希望の企業を中心に交流でき
るようにしました。

今回の「学生・企業交流会」を機会に、学生は多くの業界や企業を知り、就活の解禁とともに会社訪問を始めたことと思います。4月8日、9日開催の「学内合同企業説明会」参加企業200社から的情報も参考にして、第一志望群の他にも、興味のある企業に対してプレエントリー数を確保し、自分自身の可能性を最大限に生かせる企業と出会えるよう、就職活動に臨んでもらいたいと思います。

担当者との面談を通して、目指す業界や企業をマークし、業界の展望や社会人として働く



企業の人事担当者が丁寧に説明する仕事内容を聞く学生たち

Students: A Case Study of EFL Learning through Focus on A Self-Directed Learning" TESOL 2017 International Convention & English Language Expo (Washington State Convention Center)

藤田 美幸(情報システム学科・准教授)

- ・(2017年3月9日・10日)「デジタルとアナログの融合による地域活性化プラットフォームモデルの開発ー「ふるまちクエスト」を事例としてー」モバイル学会・シンポジウム「モバイル'17」(大阪大学)

アレクサンドル・プラーリル(国際文化学科・教授)

- アレクサンドル・グローバル（国際化セミナー）

 - ・(2016年8月5日)「現代日本社会における戦国時代の名残」ラジオストク日本センター（ロシア・ラジオストク市）
 - ・(2016年9月12日)「現代日本文化」沿海州立中央図書館（ロシア・ラジオストク市）
 - ・(2017年3月2日)「伝統文化と現代日本」沿海州立図書館（ロシア・ラジオストク市）
 - ・(2017年3月10日)「伝統文化と現代日本」極東連邦大学（ロシア・ラジオストク市）
 - ・(2017年3月13日)「日本社会史と現代社会」Persona Grata研究会（ロシア・ハバロフスク市）
 - ・(2017年3月14日)「日本教育制度」Persona Grata研究会（ロシア・ハバロフスク市）

矢口 裕子(国際文化学科・教授)

- （2016年3月5日）「『アナイス・ニンの日記』と環大西洋的想像力」アナイス・ニン研究会 第6回例会（桜美林大学）
（2016年7月9日）「Yoko Onoの初期作品にみる暴力表象」アジア系アメリカ文学会 第124回例会（共立女子大学）

・(2017年3月5日) 「『アナイス・ニンの日記』の編集方針をめぐって」アナイス・ニン研究会第7回例会(接美林大学)

3) 委員・社会的活動・記事・その他

安藤 潤(国際文化学科准教授)

- 女優・潤(国際文化女子大学准教授)

午口 榮子(国際文化学科・教授)

- ・(2016年4月より継続) 日本ヘンリー・ミラー協会 理事
・(2016年7月20日) エッセイ「エンマヒアナイス」日本ヘンリー・ミラー協会研究誌『デルタ』
・(2016年12月18日) 書評「ヘンリー・ミラー・コレクション 16 対話・インタビュー集成」「産経新聞」
・(2016年12月25日) 翻訳(共訳)トリン・ミンハ『フレイマー フレイムド』水声社

(2010年12月25日) 翻訳(共訳)

- 内田 早（情報システム学科・教授）

 - ・(2016年11月26日) 6戦略でゼミ研究発表会にて内田研究室卒業研究生発表「ミスターードーナツの顧客獲得のためのセブンイレブンのドーナツに対抗するために～」日本大学、高崎経済大学、専修大学、神奈川大学、桜美林大学、新潟国際情報大学（日本大学商学部）
 - ・(2016年12月3日) 大阪地域づくり研修会 内田研究室卒業研究生が地区民と意見交換のファシリテーター及び発表（東京都市大出席）

に袋詰めをする際や野菜コ一
ナなどに置いてあるロール

状のビニール小袋が取り出し
やすくなるように、と、工夫

が昨年12月4日、高崎経済大
学で開かれ、本学の上西園研
究室の情報システム学科の小
出瑞季さん(今春卒業)が「ビ
ニール袋の取り出し易さ向上
に関する研究—引き出し力の
低減—」を発表して高い評価
を受け、表彰状^{II}写真^{II}を授
与されました。

日本人間工学会で表彰

上西園研究室 小出 瑞季さん

レジのビニール小袋



取り出しが簡単な研究
表しましたが、人間工学会な
どの本格的な発表会やプレゼンテーションは初めてでした。
表彰を受けた小出さんは、
限られた時間内で、工夫改善の成果をわかりやすく伝え
ることは結構難しかったので
ですが、他の学生の発表も聞く
ことができて、大変よい勉強
になりました」と感想を話しました。

平成28年度卒業生 主な就職先一覧

アーフランドサカモト(株)	恒成(株)	(株)高助	パール金属(株)
アースサポート(株)	(株)国土	(株)たかだ	hakka(株)
青山商事(株)	コクヨ北陸新潟販売(株)	中越運送(株)	浜正機工(株)
阿賀野市役所	コナン販売(株)	中央保険サービス(株)	(株)ピー・アンド・エム
晃工業(株)	コネクシオ(株)	中国東方航空	(株)BSNアインネット
アクシアルリティリンググループ	(株)コマガタ	(株)ツバサ洋服店	東日本旅客鉄道(株)
(株)アクロホールディングス	(株)コマザワ精機	(株)津山商店	(株)ピット・エイ
(株)アサマ家具店	(株)コメリ	(株)ティーガイア	(株)ビップ
(株)アスカプランニング	(株)コロナ	東京コンピュータサービス(株)	(株)福田組
(株)イーエムエス新潟	コンピュートロン(株)	トップ工業(株)	福田道路(株)
(株)イシカワ	サイバーコム(株)	轟産業(株)	富士印刷(株)
(株)イタヤ	(有)佐藤建具製作所	トヨタカローラ新潟(株)	富士ゼロックス新潟(株)
(株)インテックソリューションパワー	三条信用金庫	トヨタカローラ北越(株)	(株)富士通新潟システムズ
(株)ウオロク	(株)サンソウシステムズ	(株)トラステック	藤屋段ボール(株)
(株)ウメザワドライ	サントリービバレッジサービス(株)	(株)鳥梅	北越(株)
(株)エイジェック	(株)三宝	トリオシステムプランズ(株)	(株)北越銀行
(株)HRインキュベータ	(株)シーエスレポーターズ	中日本信和(株)	北星産業(株)
(株)エイチ・アイ・エス	CKD(株)	新潟いすゞ自動車(株)	(株)ホテルオーネ新潟
(株)エクセルテック	(株)ジェイ・イー・ジェイ	新潟運輸(株)	(株)ホテル泉慶
越後さんとう農業協同組合	ジェイメディカル(株)	(医)新潟勤労者医療協会	(株)ホテルマネジメントジャパン
越後中央農業協同組合	システムアート	新潟県警察本部	(株)ホンダオート新発田
エヌ・ティ・ティデータ・セキスイシステムズ	システムリサーチ(株)	新潟県済生会三条病院	(株)マスターマインド
NS・コンピュータサービス	シマト工業(株)	新潟県酒類販売(株)	丸三証券(株)
NSGホールディングス	清水商事(株)	新潟県信用組合	(株)丸山自動車
エヌ・ティ・エス	(株)ジャパンネット	(株)新潟県農協電算センター	(株)マンションセンター
エヌテーアクアツインズ(株)	(株)JALスカイ	(株)新潟ケンペイ	ミサワホーム北越(株)
エフティグループ	(株)シリウス	新潟サンリン(株)	(株)水倉組
遠藤商事(株)	シンコール(株)	新潟市消防局	源川医科器械(株)
(株)オーシャンシステム	新日本建設(株)	新潟酒販(株)	(有)向井園
大野精工(株)	株新明電気	新潟信用金庫	(株)メディセオ
岡三にいがた証券(株)	シンワ測定(株)	新潟精機(株)	(株)護国
(税)小川会計	(株)スズキ自販新潟	新潟綜合警備保障(株)	(株)安田屋
(株)オタケ	(株)スポット	新潟大栄信用組合	ヤンマー・アグリジャパン(株)
柏崎市役所	セコム上信越(株)	新潟中央農業共済組合	(株)ゆうちょ銀行
片山商事(株)	(株)セブン・セブン	新潟トヨペッタ(株)	(株)ヨドバシカメラ
(株)川内自動車	全国共済農業協同組合連合会	にいがた南蒲農業協同組合	ライクスタッフ(株)
(株)環境マシナリーサービス	(株)セントラルパートナーズ	新潟みらい農業協同組合	(株)リアルユナイテッド
(株)キューピット	全日空商事デューティーフリー(株)	(株)日伝	リコージャパン(株)
共和工業(株)	(株)総研システムズ	日本精機(株)	ルートインググループ
(株)クスリのアオキ	株総合システムプロダクト	日本郵便(株)	(株)ワタナベ
クラッシュアンドカンパニーグループ	(株)第一印刷所	日本システムコンサルタント	ワタナベグループ
クリエイトレスラント・ホールディングス	(株)大光銀行	(株)野水機械製作所	
クリナップ(株)	(株)第四銀行	(株)ハードオフコーポレーション	
(株)グローバルネットコア	第四証券(株)	(株)ハート・デリバリー	
警視庁	ダイダン(株)	ハーバーハウス(株)	
(株)ゲイン	太平ビルサービス(株)	(株)ハーモニック	

平成29年3月現在(五十音順)

教員の活動 (本人申告による)

1) 研究論文・図書

安藤 潤(国際文化学科・准教授)

- (2017年)『アイデンティティ経済学と共稼ぎ夫婦の家事労働行動—理論、実証、政策—』文眞堂(135頁)
- (2017年)"Externality of Defense Expenditure in the United States: A New Analytical Technique to Overcome Multicollinearity", Defence and Peace Economics, Vol.28 DOI:10.1080/10242694.2017.1293775 (1-15)

區 建英(国際文化学科・教授)

- (2016年10月) 訳著 渡辺浩『东亚の王权与思想』上海古籍出版社 (1-217)

佐藤 若菜(国際文化学科・講師)

- (2017年2月)"Dédjà lu", Sympathetic Relationships between Miao Mothers and Daughters as Mediated by Ethnic Costumes Case Studies from Guizhou Province, China. <https://www.wcaanet.org/dejalu/translations.shtml>

白井 健二(情報システム学科・教授)

- (2017年)"Profit and Loss Analysis on a Production Business using Lead Time Function", International Journal of Innovative Computing, Information and Control, Vol.13 No.1 (183-200)
- (2017年)"An Optimal Production Capacity Control including Outside Suppliers", International Journal of Innovative Computing, Information and Control, Vol.13 No.1 (167-182)

瀬戸 裕之(国際文化学科・准教授)

- (2017年3月)コラム「博物館に入ったミグ21戦闘機—ラオスからみたトイモイー」「アジ研ワールド・トレンド」日本貿易振興機構アジア経済研究所 No.257 (24-25頁)

吉澤 文寿(国際文化学科・教授)

- (2016年)序論『五〇年目の日韓つながり直し 日韓請求権協定から考える』社会評論社 (9-22頁)

2) 学会・研究会・講演等

越智 敏夫(国際文化学科・教授)

- (2017年1月23日)「選舉における責任:市民と政治家のあいだ」選舉管理委員会関東甲信越静総会(越後湯沢・ホテル双葉大会議室)

小山田 紀子(国際文化学科・教授)

- (2016年11月24日)論題「アルジェリアにおける植民地支配の構造と民族運動の展開」研究懇談会(津田塾大学国際関係研究所)

佐藤 泰子(国際文化学科・英語講師)

- (2017年4月4日)「MOOCsを活用した学びの事例:学問領域を超えた動機付けとは」大学英語教育学会(JACET)リーディング・英語語彙・英語辞書研究会合同フォーラム(早稲田大学・早稻田キャンパス)
- (2017年3月21日~24日)"Poster Session: The Effectiveness of MOOCs to Japanese University

卒業式



新潟国際情報大学
学長 平山 征夫

学長式辞

本年は本学にとりまして20回目という記念すべき卒業式です。この記念の年に卒業される諸君には、心より「おめでとう」とお祝い申し上げます。

ご列席のご父母の皆様にもお祝い申し上げます。家庭から支えて来られ、本日を迎えられたお慶びいかばかりか临席いただきまことに御礼申し上げます。

卒業生諸君、みずき野での大学生活はいかがでしたか。楽しかつたこと、苦しかつたこと、いろいろな場面が走馬灯のように脳裏を駆け巡つていることでしよう。種々の困難を乗り切つて卒業の日を迎えたことに大きな拍手を送ります。みずき野の四季は巡り4年の歳月が経ちました。キャンパスライフは青春そのものだつたでしよう。スポーツにいそしみ、友達大學生活は、皆さんを大きく育んでくれたはずです。自信を持つて胸を張つて社会に巣立つていってください。

卒業生諸君、みずき野での大学生活はいかがでしたか。楽しかつたこと、苦しかつたこと、いろいろな場面が走馬灯のように脳裏を駆け巡つていることでしよう。種々の困難を乗り切つて卒業の日を迎えたことに大きな拍手を送ります。みずき野の四季は巡り4年の歳月が経ちました。キャンパスライフは青春そのものだつたでしよう。スポーツにいそしみ、友達大學生活は、皆さんを大きく育んでくれたはずです。自信を持つて胸を張つて社会に巣立つていってください。

正しいと信じること

「新たな成長を生み出す力を失つたらだ。大きな技術革新も見当らない」と指摘する経済学者もいます。中には「むしろ20世紀の成長が歴史上異例のこと。30世紀に振り返つた時、どうしてあんなに成長したのかと言われるだろう」と予想する学者もいます。こうした考え方から、現状の低成長は限りなく金融問題で、異次元の金融緩和策等によりデフレマインドを克服し、低成長から脱却しうとする判断し、実行し、解決する力」となつて皆さんは、現状の低成長は限りなく金融問題で、異次元の金融緩和策等によりデフレマインドを克服し、低成長から脱却しうとする

力・判断力と大いなる勇気をもつて挑戦しなければなりません。いつだつて難しい課題に若者は立ち向かつて時代を切り開いていきました。今度は皆さんの番です。

「良き社会人」たれと同時に「良き地域人」たれと申し上げます。本格的人口減少時代を迎え、地方は現在呻吟しています。新潟県も同様です。本学の卒業生の多くは卒業後も県内で生きています。自分たちが住む地域を愛し、地域を良くしてゆくことも積極的に参加してください。「地域で生きる」ということに大きな価値と喜びを抱きながら人生を送つて欲しいのです。

明日からは、自分の足で立ち、前を向いて歩きながら人生を送つてください。人生を送つてください。私の好きな歌に「マイ・ウェイ」があります。全く別の内容のシャンソンのメロディにボーカル・アンミクスがデフレ政策に不向きなうえ政策限界があると考えていますので前者の立場に死ぬと思つて生きなさい。でも永久に生きると思つて学びなさい」という言葉を大切にしながら活動しています。皆さんにも明

日からこの言葉を忘れずに学んでいただけたいと思います。皆さんは私より約50年後の時代を生きています。でもゆきます。貧しかった私の青春時代よりも恵まれた時代を生きています。でも豊かなれば幸福な人生が送れるかは別であります。幸福感はかなり相対的だからですが、グローバル化が世界規模の経済競争を激化させ、所得格差は拡大し、ストレスの多い社会人として自立して生きてゆかなければなりません。しかも、「AI時代」を迎え、「不確実性の時代」とも言われ、何が起きるか予測困難です。でも、そうした時代を社会人として自立して生きてゆかなければなりません。ゆくには深い知識や洞察力、そして果敢な行動力が必要です。しかし、大学で学んだことはすぐ役に立たないでしよう。当分は大海に漕ぎ出した小舟のようにさ

人々の幸福に重要なもう一つの条件は「平和」。すなわち戦争のない世界を生きるということです。私は終戦1年前に生まれこの夏73歳になりますが、ずっと「戦争のない日本」で生きて来られたことを何よりも幸福だつたと思っています。皆さんが私と同じ年齢になつて同じことが言える日本であつてほしいと強く願っています。残念ながら状況は近年悪化、緊張が高まっています。新自由主義やグローバル経済による所得格差の拡大、中間所得層の崩壊などが社会を不安定にしています。米国では「10%の資産家が富の50%近くを支配する」という1929年の「世界恐慌」前夜と同様の状況になつています。皆さんには「平和」に敏感な人間でいてほしいと願っています。

しているこの時、振り返つてみれば困難なこと、後悔すること、波乱の人生、すべての道を旅してきたが、今は何もかも楽しめたと思える。全てに全力で立ち向かつてきたからだ。自分の信じたままに」と言う内容です。これから本格的に人生をスタートしようという皆さんに人生を終えようという時の詞はふさわしくないのですが、人生で一番大切なことは「自分の正しいと信じた道を全力で生きること」だと言いたくて引用しました。この通り生きた人がいます。ステイ・ザ・ジョブズです。

先月、本学の「異文化塾」の講師に「テルマエ・ロマエ」で有名な漫画家ヤマザキ



学校法人 新潟平成学院
理事長 星野 元

本日の卒業式をもつて実社会に羽ばたく皆さんは、本学が開学してちょうど20回目の卒業生になります。振り返れば本学が新しい校舎に340人の第1期生を迎えて入学式を行ったのは、23年前の平成6年春でした。そして4年後、平成10年3月20日、今日と同じ日の卒業式で第1期生たちは元気よく実社会に飛び立つてきました。

本学「十年史」によりますと、初の入学式での内山初代学長の式辞は、学生と教職員が一体となって歴史を創つていこう、というものでした。内山学長は、「人類愛を貫く」という建学の精神を踏まえて、「この新潟の一角に人類全体のことを思う人間

想像するだけでも、私は本学に関わった一員としてうれしく、頼もしく思う次第です。さらに申し上げれば、本学卒業生の過去20年の就職状況を見ますと、県内就職率は平均で7割を超しています。従つて県内に限つて言えども、既に同窓生たちは様々な分野で新潟国際情報大卒として“一大勢力”を成し、活躍している訳です。

このうち第1期生や2期生など“ひとヶタ世代”的の同窓たちを私も何人か知つていますが、彼らは大きく成長し県内外の企業などで責任あるポストに就いておりますし、他のOBたちも若手のリーダー的な存在として活躍を続けております。同窓会で

代えさせていただきます。先生は明治14年、新潟市に生まれ、昭和31年に亡くなられました。早稲田大学文学部教授などを務められた一方、書家、歌人として活躍され、多くの優れた作品を遺されています。新潟市の名譽市民でもあります。

今日は私と新潟日報社の同人であります小田社長から激励に駆けつけていただきておりますが、「新潟日報」の新聞の題字は会津先生の揮毫によるものです。

「学規」は「学ぶ、の学（がく）と規則の規」と書き、四カ条の指針です。会津先生が早稲田の講師時代、大正初期のことですが、新潟から上京した受験生3人を自宅

マリさんが来られました。現在、古代ローマの博物学者「プリニウス」を執筆中ですが、同時にアメリカのアッブル社創業者が「ステイ・ヴィ・ジョブズ」の伝記の漫画化にも取り組んでおられます。「少し傾向が違いますが」と遠慮気味に聴いてみましたら、「あのアイザックソンの有名なジョブズの伝記の漫画化は出版社から持ち込まれた企画です。乗り気がしなかつたのです。が、ジョブズと言う人間を知るうちに次第に面白くなり引き受けたのです。ぜひ読んでみてください」とのこと。それでジョブズを読んでみると、14歳でヨーロッパに一人で出かけ、17歳でイタリアに留学した彼

女と共通するユニークな人生、常にやりたいことにチャレンジしてきた人、自分の信じた道をぶつかりながら歩んできた人であることが分かりました。それだけにユニークな言葉もたくさん残しています。その中で私は「持っているテクノロジーをすべて引き換えてもソクラテスとの午後のひと時を選ぶね」というのが好きですが、皆さんの方たちに送る言葉になりませんので、ジヨブズの言葉の中から次の言葉を送ります。「もし今日が人生の最後の日だとしたら今やろうとしていることは本当に自分のやりたいことだろうか」。ガンジーとも共通していますね。夢に向かって諦めずチャ

レンジしてください。
卒業後も本学に思いを寄せてください。
私は本学の中長期計画の目標の一つに「地域に必要な大学であり続ける」ことを挙げました。それは卒業生諸君にとつて、誇りの持てる母校であり続けることでもあります。どうか卒業後も同窓会活動などを通じて大学とつながつていってください。
大学は新たな歴史を刻み伝統を育みながら皆さんと一緒に成長してゆきます。本日社会人として新たな人生に歩み出す皆さん
の前途に「幸多かれ」と心からのエールを送つて私のお祝いの言葉いたします。

理事長祝辭

学生の就職などご支援ご協力をいただいております企業、団体の皆さま方がいらも多数ご臨席を賜り誠にありがとうございました。厚く御礼を申し上げます。

さて、今ほど学長から学位記を授与された皆さんには、何を考え思い浮かべていますでしょうか。「みずき野」での学園生活は、有意義な日々でしたでしょうか。多くの仲間や生涯にわたつて肩を組み合える友人を得ることができたでしょうか。それぞれ数多くの思い出を刻んだことと思います。

日々新面目あるべし

が数百人いる。そしてやがてそうした人間が千人の単位で存在することになる」と述べ、歴史の起点に立つての決意を述べました。

本学の卒業生は5500人余りです。今年の皆さんのが加わるとおよそ5800人になります。来年には6000人の大台を超える同窓生が社会に存在することになります。季節は巡り、遠くない将来には「千人単位」どころか「万人単位」が本学の同窓生として社会で活躍することになります。

本日卒業する皆さんも、忘れてはならないのは本学卒業という看板を背に歴史を創ってきた先輩たちに統いて歴史をつなぐ、という自覚です。先輩たちの仲間に入り、今度は皆さんが社会で実績を積み上げて後輩たちを迎え、輪に入れていくことが重要です。本学卒業という絆をもつて人生を切り開いてほしいと願っています。

最後に、贈る言葉として昨年の卒業生には「急がず、緩まず、焦らず、ぶれずに前へ進め」と申し上げましたが、今年は會津八一先生の「学規」を紹介して贈る言葉に

進されたといふことです先生ご自身の信
条、指針だつたともいわれています。
四カ条の内容は「ふかく、この生を愛す
べし」、「かへりみて己を知るべし」、「学
芸を以て性を養うべし」、「日々新面目あ
るべし」というものです。時々、私はこの
「学規」のことを思うのですが、特に最後
の「日々新面目あるべし」の一力条が頭か
ら離れない言葉です。「一日一日を自分な
りに精一杯生きて努力し、日々新たに気概
をもつて前へ進もう」と自分なりに解釈し
ています。

皆さんもあとで調べて、一力条でもいい
ですから時々心の中で読み上げたらどうで
しょうか。以上、祝辞といたします。

新潟国際情報大学 学報 国際・情報 平成29年4月発行 2017年度 No.13

2年次にロシアへ留学しました。当初は先生の話さえ聞き取れず、周りの留学生のレベルに圧倒されて落ち込む毎日でしたが、友人と一緒に毎晩遅くまで勉強して、徐々に理解できるようになり、成長を少しづつ感じられるようになりました。しかし、ほかの留学生は、授業中はもちろん普段の生活でも常にロシア語を使い、その積極的なコミュニケーション意欲に刺激を受ける毎日でした。

ロシアの冬は海面も凍る寒さで、凍った海を歩いたりロシアのお祭りやコンサートを経験するなど、毎日が充実していました。大学生活、どの思い出にも、所属したソフトバレーボールサークルの面々が思い浮かび、卒業した先輩方にやつと追いつける安心感のようなものや、後輩たちへの期待、卒業を迎える寂しさなどが胸にこみ上げます。

3年生の秋にサークル長を引き継いでからは、サークルについて考えて過ごしました。先輩の強力なリーダーシップについていくのが楽しいときとは違い、イベントを考え、実行する大変さに頭を悩ませることの多い日々でした。

4年の春、多くの新入生

ロシアの異文化に刺激

情報文化学科
上條真季

又を読み、先生の熱心な指導のおかげで自分納得のいく論文を執筆すること

留学、アルバイト、運動に汗

1年の後期から中国語に励み、3年次に區教授に勧められて、第13回漢語橋世界大学生中国語コンテストに参加しました。先生の熱心なご指導のおかげで、コンテストでは「優れた表現賞」をいただき、孔子学院の奨学金で1年間の中国留学にも行きました。

学生生活で特に印象に残っていることが三つあります。一つは、国際交流インストラクター事業です。グループでワークショップを作り、意見がまとまらず対立して、くじけそうになりました。しかし、グループ外の先輩やスタッフのアドバイスにより意見がまとまり、対立を解消することもできました。

人の話を聞き視野広く

情報システム学科
山浦 圭介

大学生活

国際交流で経験豊かに

情報文化学科
平太秀哉

でもらい、仲間と出かける機会もありました。苦楽を共にした仲間たちは一生の宝物です。

二つ目は、アルバイトです。私は塾のアルバイトをしていました。学内で塾のアルバイトをしている者同様に、話を聞き続けました。就職先が決まつたのは間違いなく職員の方々のおかげです。

支援課の職員の方々にお世話をになりました。履歴書の添削や面接練習のたびに的確なアドバイスをいただきました。職員の方々は私の話を聞き続けてくださいました。就職先が決まつたのは間違いない職員の方々のおかげです。

話を聞き視野広く

情報システム学科 山浦圭介

士で集まり、勉強会という名目で授業を見せ合つたこともあります。また、アルバイトの悩みごとを相談し合い、解決方法を見出すこともできました。

三つ目は、就職活動です。就職活動ではキャリア

自分の視野を広げてくれるということを学びました。社会に出てからも、人の話をよく聞き、異なる考え方やアドバイスを取り入れ、より良い仕事につなげたい

サークルの苦楽が宝物

情報システム学科
日高 菜摘

として多くの仲間
とができ、約50人
サークルになります
を目指したスポーツ
天下のバーべキュー
に時間をかけた紅
くさんのバーベキュー
ール試合、
一緒に食べ
たラーメン
の味、一緒に
に過ごした
楽しい日々
が宝物です。
卒業した先輩方に
があり、「お疲れ
声をかけてもらい
振り返れば、楽し
ました。サークルを
らいたりがとうご
た。

卒業にあたって

1年の後
励み、3年
められて、中
界大学生中
に参加しま
心なご指導
ンテストで
賞」をいたば
奨学金で1
年間の中國
留学にも行
くことができ
きました。ま
た、留学した
クラスには
ラシアの
がいて、中
その他外国
んでき、国
楽しむこと
また、留学
力が日本に

つて、学生生活といふことは、一つはストラクターループで、ワーキングの際、意見がまとまり、対立してしまって解消する。たまたま、休み時間たり出かけたり、仲間を深めます。そこで、タクタクを辞めます。

国際交流で経験豊かに

情報文化学科
平太秀哉

悩んでいる人には、自信をもつて海外留学することをお勧めします。語学だけではありません、多くの外国人との交流は、きっとあなたに広い視野と新たな経験を授けてくれるはずです。

支援課の職員の方々にお世話をになりました。履歴書の添削や面接練習のたびに的確なアドバイスをいただきました。職員の方々は私の話を聞き続けてくださいました。就職先が決まったのは間違いなく職員の方々のおかげです。

山浦圭介



「よき地域人」に

学校法人
新潟平成学院の星野元院長は、理事長は、

会津八一の「学規」の「ふかくこの生を愛すべし。日々新面白あるべき」を説

昭さんが「国際情勢に关心を持ち語

学を磨き、充実の4年間でした。法

律学ゼミで裁判員制度をテーマにし

て広い視野を知りました。この経験

を社会で生かしたい」と晴れやかに

答辞を述べました。

最後は校歌「空がある風がある光

がある」を、吹奏楽部の演奏で父母、教職員一緒に歌い上げ、広いホール

に喜びを響かせました。

今年で第20回となる本学の平成28年度卒業式が3月20日、新潟市民芸術文化会館（りゅーとぴあ）コンサートホールで行われ、卒業生286人（情報文化学科113人、情報システム学科173人）が、夢と希望を胸に新社会へ羽ばたきました。

最初は学位記授与式。学部長から卒業生一人ひとりが名前を高らかに

呼ばれて登壇し、平山征夫学長が「おめでとう」と握手で祝福。式辞で平山学長は「世界は政治、経済とも厳しい不確実性の時代。皆が、一度しかない人生、全力を尽くしてください」と激励しました。

来賓の新潟日報社小田敏三社長が「あふれるネット情

報に流れ、「が大切です」とエールを贈りました。

明し、「一日、新たな気持ちで努力してください」と祝辞。

仙晃史

第20回までの卒業生は合計5,801人に

年 度	卒業者数	情報文化学科	情報システム学科
平成9年度(第1回)	295人	116人	179人
10年度(第2回)	290人	124人	166人
11年度(第3回)	303人	126人	177人
12年度(第4回)	294人	116人	178人
13年度(第5回)	291人	118人	173人
14年度(第6回)	277人	111人	166人
15年度(第7回)	314人	118人	196人
16年度(第8回)	294人	115人	179人
17年度(第9回)	299人	121人	178人
18年度(第10回)	278人	110人	168人
19年度(第11回)	312人	126人	186人
20年度(第12回)	285人	117人	168人
21年度(第13回)	267人	105人	162人
22年度(第14回)	310人	117人	193人
23年度(第15回)	272人	110人	162人
24年度(第16回)	294人	113人	181人
25年度(第17回)	291人	124人	167人
26年度(第18回)	278人	107人	171人
27年度(第19回)	269人	124人	145人
28年度(第20回)	288人	114人	174人
合 计	5,801人	2,332人	3,469人

※9月卒業生含む

平成28年度 卒業生特別表彰

学長賞（学業成績優秀者）

情報文化学科
情報システム学科

学術賞

情報文化学科

金子修登

堀芳昭

山科棕

仙晃史

農産物を使ったビジネスプランコンテストでの発案が評価され、準優勝したのち、地元イベントにてアーチを出展する等、産学連携プロジェクトをPRした。また、十日町鶴山繩文遺跡を活用した地域活性化計画を提言し、地域振興会長や住民の方から評価され新聞にも大きく取り上げられるなど、大学と地域の連携に多大な貢献をした。

地域交流賞

情報システム学科

戸川和志

農産物を使ったビジネスプランコンテストでの発案が評価され、準優勝したのち、地元イベントにてアーチを出展する等、産学連携プロジェクトをPRした。また、十日町鶴山繩文遺跡を活用した地域活性化計画を提言し、地域振興会長や住民の方から評価され新聞にも大きく取り上げられるなど、大学と地域の連携に多大な貢献をした。

課外活動賞

情報システム学科

海津亮太

本学陸上競技部に所属し、県大会や北信越大会での優勝をはじめ、第69回国民体育大会や2015年日本学生陸上競技個人選手権大会等の主要な全国大会にも出場するなど、優秀な成績を修めた。